



笹山小学校 学校だより

平成28年 9月30日発行
平成28年度 第6号

雨だれ石をうがつ

学校長 三瓶 徹

9月に入っても厳しい残暑が続いていましたが、秋分の日を境に朝夕が涼しくなり秋を感じる季節になってきました。彼岸花もいたるところで目にします。また、秋の雲も見られ、爽やかな日を過ごすことができるようになってきました。

「天高く馬肥ゆる秋」と言いますように、食欲の秋、勉強の秋、スポーツの秋等、何をするにも気持ちのよい季節となりました。あと1週間ほどで前期の学習が終わろうとしています。4月の新学期から、一人ひとりの子どもたちが学級活動をはじめとして、学年での活動や他の学年との交流、校外学習、宿泊体験学習等を通して地域の方々や自然とのふれあいで、一段と成長したことと思います。これからも様々な体験を通して、さらに大きく成長して行ってほしいと思います。

さて、「雨だれ石をうがつ」ということわざがあります。屋根や軒先から落ちる雨だれのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがあるということから、小さな力でも根気よく努力すれば、いつかはその成果、大きな結果が得られるということを表したことわざです。4月の始業式で、自分の目標・めあてをもって過ごしてほしいという話をしました。前期を振り返ってどうだったでしょうか。「雨だれ石をうがつ」ということわざの「石をうがつ」という結果は、はじめから期待できるものではありません。雨だれのように、小さな力でもこつこつ努力を重ねた結果、得られる大きな成果です。結果のよし悪しは後からついてくるものです。目標や夢をもって、その実現に向けてこつこつと毎日努力することを大切にしてください。

10月7日に前期の終業式を迎え、11日から後期が始まります。子どもたち一人ひとりがさらに伸びゆく場となるよう、教職員一同努めてまいりたいと思います。今後も、保護者の皆さま、地域の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。